

ドメスティックキーパーとして生きる

青年海外協力隊

清水恵子

背景：

彼は、小柄な15歳。田舎で両親と3人の兄弟で暮らしていたが、生活が困難であり、カトマンズの富裕層に引き取られた。引き取られたときは、服を着ておらず、靴下の履き方もわからなかったそうだ。彼は、生活する場所と食事、教育を受ける機会をもらう代わりにドメスティックキーパーとしてこの家で家事などの手伝いをしている。

学校帰りに、植物の手入れ

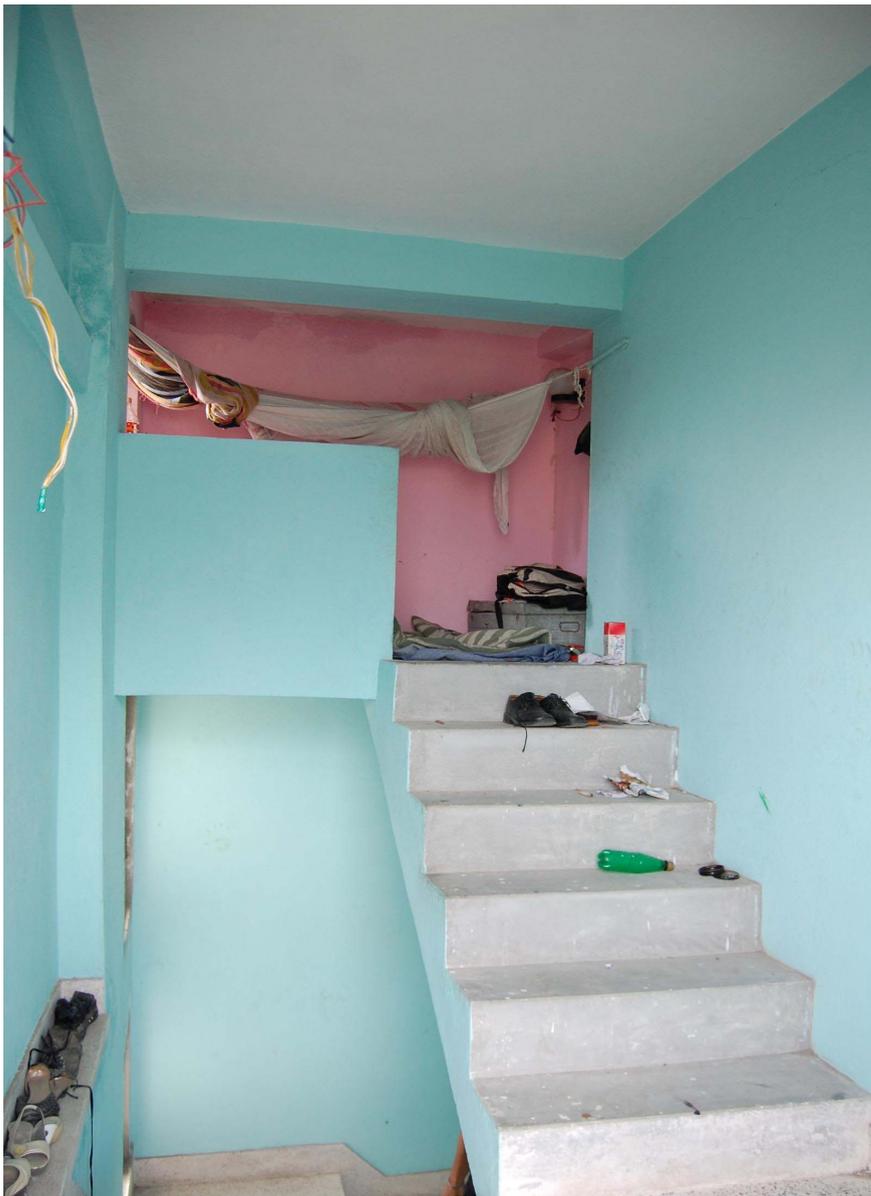




屋上が彼の遊び場







階段の最上階の
一畳が彼の部屋

勉強もここで行う



